

日時 校時 クラス	教科	単元名・題材名
9月10日 5校時 1年1組 29名	算数	わかりやすくせいらしよう
本時のねらい	ものの個数を種類ごとに整理して表すことができる。	
評価規準 【評価方法】	ものの個数を把握するために、整理する方法を考えている。【発言・話し合い・ホワイトボード】	
展開	学習活動	◇留意事項 ★見取りの視点
問題提示 ④ (5分)	1. 問題を提示する。 どの果物が一番多いでしょうか。	◇黒板に果物の絵カードをばらばらに貼り、布で隠してちらっと見せる。
めあての設定 ⑤ (5分)	2. めあてを設定する。 「ぱっとみてわかるならべかたをかんがえよう。」(かぞえないで)	◇「ばらばらだと分かりにくい」「数えなくてもよい」ということに気付かせる。
見通しをもつ ⑥ (5分)	3. 解決の見通しをもつ。 ・同じ種類で並べる ・長さで比べる	◇端をそろえて並べることに着目させる。
ペアで解決 (5分)	4. ペア学習をする。	◇ペアでホワイトボードと絵カードの活用 ★同じ種類ごとに端をそろえて1対1対応させながら並べることに気付いている。
価値の共有 (10分)	5. 全体での学び合いをする。	◇ホワイトボードを黒板に貼り、黒板の前に集まって共通点や違う点を話し合う。
まとめ ⑦ (10分)	6. 学習のまとめをする。	★「同じ種類に分けて並べる」「端をそろえる」「横をそろえる」などの言葉に着目する。
振り返り ⑧ (5分)	7. ふりかえりをする。 ①わかったこと ②学んだこと ③知りたいこと	